

科目名	国際情報論特講	担当者	マルモリ 丸森 カズヒロ 一寛	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	--------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本科目は、修士論文を作成するために必要な研究リテラシーと国際情報分野の研究基盤となる知識・教養の涵養を目的とする。</p> <p>本年度は、経営学を中心とした内容とする。経営学は、企業を中心とした経営組織を対象として過去の事例を科学的な方法で分析し、そこから真理を探究する社会科学の一分野である。そこにおける知見は、営利組織のみならず教育機関や行政機関などの非営利組織においても有効である場合が多く、経営以外の分野の研究を進める際にも十分に役立つものである。</p> <p>具体的な内容としては、基本書1において、経営学を中心とした分野における必要不可欠な知識を習得する。次に基本書2において、この分野において研究者が取り組んでいる研究内容と最近の成果の概要と、研究の進め方の基本を理解する。さらに、スクーリングにおいて上記の理解を深めるとともに、研究倫理を理解しそれを順守できるようになり、博士前期課程にふさわしい研究をすすめ論文を作成する基礎を身につけることを目的とする。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営学を中心とした分野において、研究活動を行うために必須となる知識を習得する。 2. 世界の経営学者が、現在取り組んでいる研究内容とその最近の成果の概要を理解する。 3. 各自の研究において不可欠な、先行研究のレビュー、仮説の構築、仮説の検証についての基礎知識を習得する。 4. 研究倫理を理解し、それに従って研究を進めることができるようになる。 		
学修方法	<p>国際情報専攻の博士前期課程における必修科目であり、初年度に履修することを想定している。内容は、2単位相当の在宅学習によるレポート作成と2単位相当のスクーリングとにより構成されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 通信授業（在宅学習） 基本教材1を精読し、必要に応じて参考図書等を参照しながら、課題のレポートを作成する。 2. スクーリング 履修期間における夏期および冬期のスクーリングに少なくとも1回、全日程（3日間）出席し、発表ならびにディスカッションに参加するとともに、レポート課題1および2を提出する。 		
スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通信授業（在宅学習） 2単位 <ol style="list-style-type: none"> 1) 基本教材1.のレポート課題1 初稿〆切 平成28年6月末日 → 最終稿〆切 平成28年9月21日 2) 基本教材1.のレポート課題2 初稿〆切 平成28年11月末日 → 最終稿〆切 平成29年1月16日 2. スクーリング 2単位 <ol style="list-style-type: none"> 1) 夏期 平成28年7月16日（土曜日）～18日（月曜日・海の日） 2) 冬期 平成28年11月18日（金曜日）～20日（日曜日） 3) 基本教材2.のレポート課題（提出は最終稿1回のみとする。） レポート課題1の〆切：スクーリング終了後1週間以内 レポート課題2の〆切：スクーリング終了後1か月以内 		
成績評価	種別	割合	評価基準
	通信授業 （在宅学習）	50%	レポートの内容（構成、論旨、引用文献、独創性）：35% 提出状況（期限の順守、初稿から最終稿までの改善度等）：15%
	スクーリング	50%	スクーリングの発表およびディスカッション参加状況（10%）及びレポート課題1（10%）及びレポート課題2（30%）により評価。 ★出席率は60%以上とする
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な学習のため、履修届を提出したら担当教員（marumori.kazuhiro@nihon-u.ac.jp）に必ずメールにて連絡すること。 ・レポートを作成する際には、事実と意見を峻別すること。また、意見のうち他者の意見と自分の意見を峻別し、前者については引用部分と出典を明らかにし、後者についてはその根拠を論理的に説明すること。 		

【レポート課題】

基本教材 1 (通信授業/在宅学習用)	
教材の概要	<p>(1) 著者名： 早稲田大学ビジネススクール著 教材名： 『ビジネスマンの基礎知識としてのMBA入門』(日経BP社, 2015) ISBN978-4-8222-4900-7 1,800円+税</p> <p>(2) 著者名： 日本経済新聞社 編 教材名： 『仕事に役立つ経営学』(日本経済新聞出版社, 2014) ISBN978-4-532-11314-8 860円+税</p> <p>『ビジネスマンの基礎知識としてのMBA入門』は、ビジネススクールの主要科目のエッセンスを集約したもので、ビジネスの原理原則を体系的に学ぶための入門書である。ビジネスプランを描くための「戦略思考の基礎」と、その実行方法を解説した「マネジメントの基礎」から構成され、考えることと実行することの基本をバランスよく学習できるように工夫されている。</p> <p>『仕事に役立つ経営学』は、経営学の最前線で活躍する重鎮・気鋭の日本人研究者11名が、今注目を集めるホットなテーマについて執筆したものである。企業の実例が多く織り込まれており、実務に役立つ内容となっている。</p> <p>いずれも、章毎により詳しく学ぶための本を紹介しており、各人の興味に応じてさらに深く学べるように工夫されている。</p>
参考図書	基本教材の「もっと詳しく学ぶための本」および「ブックガイド」に記載されている本
履修上のポイント	基本教材は、いずれも経営学の基礎知識を持ち合わせていなくとも読み進められる記述となっているが、ベーシックなフレームワークや理論を出発点としながら最新の理論とケースを学べる内容となっている。字面を追うだけでなく、その背景にあるロジックを常に考えながら読み進めてほしい。
レポート課題1	基本書の8の分野(履修届提出者に別途連絡)について、それぞれ①最も刺激を受けた(あるいは有用であると思った)内容と、②それを自ら実際にどのように活用することができるか、また③その際に注意すべき点、を述べてください。
レポート課題2	基本書に記載されているフレームワークや理論が適用できる事例を探し、事実関係を要約するとともに適用するフレームワークや理論を用いて分析してください。

基本教材 2 (スクーリング)	
教材の概要	<p>著者名： 入山章栄 著 教材名： 『世界の経営学者はいま何を考えているのか』(英治出版, 2012) ISBN978-4-86276-109-5 1,900円+税</p> <p>世界のビジネススクールの最前線にいる「経営学者」たちが取り組んでいる研究、その「知のフロンティア」をわかりやすく知ってもらうことを目的として書かれた本である。具体的にはどのような研究がおこなわれ、何を論争し、どのような知見が得られているのか、についてその概要が述べられている。加えて、研究方法や考え方についても理解できるように工夫されている。</p>
参考図書	基本教材において引用されている参考文献
履修上のポイント	経営学の3つの流派、企業とは何かについての4つの視点をまず理解すること。次に、経営学の分野で標準的とされている研究方法や考え方を理解すること。それらを、自らの研究において採用するアプローチを決定する際の参考になるように、主体的に読み進め理解すること。
レポート課題1	スクーリングの概要を要約し、それについての意見をまとめてください。(1,000字から1,500字)
レポート課題2	夏期：各分野の研究手法の講義や基本教材および参考図書、並びにスクーリングでの発表およびディスカッションを踏まえて、 研究計画書 (3,000字から4,000字)をまとめてください。 冬期：各分野の研究手法の講義や基本教材および参考図書、並びにスクーリングでの発表およびディスカッションを踏まえて、 研究経過報告書 (3,000字から4,000字)をまとめてください。